

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	11月16日(水)	第4回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会	10号5ページ参照
	11月17日(木)	土木技術者のための岩盤力学講習会	東 京	10号5 "
	11月18日(金)			
	11月22日(火)	第3回衛生工学研究討論会	土木学会	11号5 "
	11月29日(火)	第3回トンネル工学に関するシンポジウム	東 京	11号6 "
	11月30日(水)			
	12月5日(月)	第13回海岸工学講演会	仙台市	11号7 "
	12月6日(火)	第1回土木計画学シンポジウム	土木学会	11号8 "
	1月31日(火)			
	2月3日(金)			
2月4日(土)	第11回水理講演会	土木学会	11号8 "	
関東支部	11月18日(金)	新しい工程管理講習会	東 京	10号12 "
	11月19日(土)	「道路と交通」講演と映画の会	東 京	10号13 "
	12月7日(水)	「現場技術者のための測定技術」講習会	東 京	11号11 "
12月9日(金)				
中部支部	11月18日(金)	研究発表会	金 沢 市	10号14 "
関西支部	11月24日(木)	第2回学生見学会	大 阪 市	11号12 "
	11月30日(水)	PCに関する講演会	大 阪 市	10号19 "
	12月1日(木)			
	12月13日(木)	第9回溶射技術講演および研究発表会	大 阪 市	11号12 "
	12月3日(土)			
	12月6日(火)	「道路・交通工学最近の諸問題」講演会	大 阪 市	10号18 "
	12月7日(水)			
	12月6日(火)	実用荷重に対する強度講習会	大 阪 市	11号13 "
12月7日(水)				
12月8日(木)	学生映画会	神 戸 市	11号12 "	
中四支部	11月24日(木)	支部総会および第18回学術講演会	松 山 市	11号13 "
11月26日(土)				
そ の 他	11月18日(金)	第13回風に関するシンポジウム	東 京 土 木 学 会	10号10 "
	11月19日(土)	流体模型実験における相似律セミナー	東 京 土 木 学 会	10号11 "
	11月24日(木)	第15回レオロジー討論会	東 京 土 木 学 会	10号11 "
	11月26日(土)	第13回橋梁・構造工学研究発表会	土 木 学 会	11号7 "
	11月25日(金)			
	12月2日(金)	第7回構造の軽量化に関するシンポジウム	土 木 学 会	7号6 "
	1月26日(木)	高分子材料の強度に関する講習会	大 阪 市	11号9 "
1月27日(金)				
お知らせ	■昭和41年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集について			11号2 "
	■土木学会第22回年次学術講演会実施要領			11号5 "
	■第4回理工学における同位元素研究発表会論文募集			11号9 "
	■第13回国際道路会議			11号10 "
	■工事報告書類の出版に関して			11号10 "
	■研究発表会論文・報文・募集(北海道支部)			11号11 "

研究ノート欄の設置について

論文集編集委員会では、土木工学の研究・技術の進歩・発展および内容の多様化にともない論文集第135号より研究ノート欄を新設することになりましたのでご利用下さい。

本欄の原稿は、土木工学に関する理論・設計・計画などを記述したもの、将来を見とおした技術哲学的な意見、土木学会論文集に既発表論文の補足および発展部分等あつかったものを原則とします。

詳細については論文集編集委員会へお問合せ下さい。

昭和 41 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和 41 年 10 月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。推薦または応募されますようお願いいたします。

(注) 昨年度から表彰制度の改正により、土木学会賞として功績賞、技術賞、論文賞、吉田賞の4賞を、さらに本年度から田中賞を加えて5賞の表彰を行うことになりました。ただし、功績賞については公募いたしませんので別途資格者に推薦方法を依頼します。

◎土木学会賞候補募集要項

種別	項目	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候補対象		土木事業の計画、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績 (例) ○○ 事業の総合技術 △△ 事業の施工 □□ に関する考案	(論文賞) 土木学会誌、論文集その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ顕著な貢献をなしたものを(論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として満35才未満であるもの	コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究工事等を行なったと認められたものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類する刊行物に研究論文、設計、施工、考案などの報告、またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし公開されたものの中から選ばれる。 (作品) 橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観など、面においてすぐれた特色を有すると思われる物を対象とし、つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの
受賞候補者		個人または団体	本会会員に限る。 過去の土木学会賞受賞者は既受賞者となり、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないものが含まれていることはさしつかえないが受賞候補者に加えることはできない。	日本に国籍を有する個人または研究グループ。ただし、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	(論文) 個人またはその複数 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲		昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたもの、他、他学・協会・大学・官公庁・会社などの刊行物に登載されたものなど、内容審査に必要な資料の揃っているものに限る。	昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間に発表されたもの。 (論文) 論文賞、吉田賞に同じ。 (作品) 昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間に完成した橋梁およびそれに関連する構造物で、日本人により設計、施工、計画されたものに限る。	
推薦(応募)の方法		会員、支部、土木事業に関連する学・協会、法人の推薦により別に定める推薦者、候補業績の要旨各1部を提出する。 なお、当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	会員、支部、その他一般の推薦または会員自らの応募により、別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	会員、支部、その他一般の推薦により別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。	(論文) 会員、支部、その他一般の推薦により、別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表された場合は推薦書に添えて審査に必要な資料20部を提出しなければならない。 (作品) 会員、支部、その他一般の推薦調者2部を提出する。
審査		表彰委員会において行う。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求められることがある。	吉田賞選考委員会において行う。	田中賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに関係資料の提出を求められることがある。
表彰		第53回通常総会において行い、賞状、賞牌を贈る。	第53回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。	第53回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。	第53回通常総会において表彰する。
期 日		昭和 42 年 1 月 20 日			
提出先		東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

土 木 学 会 表 彰 規 程

(総 則)

第1条 土木学会規則第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(仮称)を授与して行う。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

(功 績 賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

(技 術 賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論 文 賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

- (2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として満35才未満であるものに授与する。

(吉 田 賞)

第6条 吉田賞はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれに関連する優秀な研究、工事等を行ったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(田 中 賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

- (1) 論 文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。

- (2) 作 品

橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すと認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その他特殊橋梁および橋梁に関するもののグループ別に選ばれる。

(委 員 会)

第8条 土木学会賞を審議決定するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会

- (2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行い、土木学会賞受賞候補を決定する。

- (3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行う。

- (4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行う。

- (5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行う。

- (6) 前記各委員会の構成、運営その他については別に内規で定める。

(表彰の時期、方法)

第9条 表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行う。

◎吉田研究奨励金候補募集要項

1. 候補対象

コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

本年度より従来の自由課題に加えて要望課題についても募集することになりましたのふるってご応募下さい。

(I) 要望課題

- (1) 鉄筋コンクリート部材の極限設計の研究
- (2) 高張力異形鉄筋の有効な使用方法の研究
- (3) 軽量コンクリートの研究
- (4) 砕石コンクリートの研究

(II) 自由課題

従来どおり

2. 募集の方法

日本に国籍を有する個人または研究グループの応募による。

3. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか昭和43年5月下旬施行の第23回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

4. 応募の方法

一定の様式による研究計画1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

5. 審査

吉田賞選考委員会において行う。

6. 締切期日

昭和42年1月20日

7. 提出先

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者(敬称略)

功 績 賞	内 海 清 温	土木工学ならびに土木事業の進展
	鈴 木 雅 次	同
技 術 賞	日本国有鉄道	東海道新幹線の建設
	関西電力株式会社	黒部川第四発電所の建設
論 文 賞	林 泰 造	1. THRUSTS EXERTED UPON COMPOSITE-TYPE BREAKWATERS BY THE ACTION OF BRAKING WAVES.
		2. VIRTUAL MASS AND THE DAMPING FACTOR OF THE BREAKWATER DURING ROCKING, AND THE MODIFICATION BY THEIR EFFECT OF THE EXPRESSION OF THE THRUSTS EXERTED UPON BREAKWATERS BY THE ACTION OF BREAKING WAVES.
	久 保 浩 一	1. 垂直控えグイの横抵抗
		2. 杭の横抵抗の新しい計算法
論文奨励賞	石 原 研 而	1. 非可逆的熱力学にもとづく熱の影響を考慮した圧密理論
		2. 粘弾性物質の変形係数におよぼす荷重速度の影響
	中 村 英 夫	航空写真と電子計算機による道路路線の設計法
	土 岐 憲 三	VIBRATIONAL CHARACTERISTICS AND ASEISMIC DESIGN OF SUB-MERGED BRIDGE PIERS.
吉 田 賞	赤 塚 雄 三	港湾工事におけるプレバッドコンクリートの施工管理に関する基礎研究

土木学会第22回年次学術講演会実施要領

第22回年次学術講演会は1967年5月27日(土)、28日(日)の両日、広島市広島大学において開催することになりました。

講演申込み、その他は、下記のように決まりましたのでお知らせします。

記

1. 応募要領は期日および先を除いてほぼ昨年のおりとする。ただし講演概要の原稿は2ページとするが、4ページでもさしつかえない(増ページ料金不要)。
2. 各部門とも研究論文の一部または全部を一般報告に付する。すなわち、同じ種別の論文数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。質疑討論の応答には各著者があたる。講演概要の記述にあたっては、一般報告者がこの概要にもとづいて報告することを予想し、必らずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。一般報告を行なう論文は本部できめる。
3. 講演概要集は、あらかじめ参加者に送付する。発送日は4月30日とする。
4. 講演題目および著者名等の申込みは、学術講演係(広島市千田町3丁目8-2 広島大学工学部土木教室 網干寿夫教授)あて1967年1月15日まで必着のこと。
5. 講演概要の提出は学術講演係あて1967年2月28日まで必着のこと。
6. 講演会の実施日時: 1967年5月27日(土) 13.00~17.00, 28日(日) 9.00~17.00
7. 実施場所: 広島大学

第3回衛生工学研究討論会

◀ 11月22日(火) ▶

下記により第3回衛生工学研究討論会を開催いたしますのでふるって参加されますようご案内いたします。

1. 主 催: 土木学会衛生工学委員会
2. 期 日: 1966年11月22日(火)
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂
4. 参加費: 無料
5. 講演論文集: 参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布しますから希望者はお買求め下さい(600円程度の見込み)。

プ ロ グ ラ ム

9.00~9.10	開 会 換 拶	衛生工学委員会委員長 板 倉 誠
9.10~9.30	① 活性汚泥法における浄化機構の基礎的研究	京都大学工学部 合田 健・中西 弘・宗宮 功
9.30~9.50	② 活性汚泥法の浄化機構について	東北大学工学部 松本順一郎・大沼正郎
9.50~10.10	③ 接触曝気法による下水処理装置	栗田工業総合研究所 関川泰弘・増田暢夫・田中郁雄・石過外志勝
10.10~10.40	①~③ 討 議	
10.40~11.00	④ 皮革工場群からの廃水の除害施設の研究	建設省土木研究所 柏谷 衛・菅原正孝・小堀和夫・柳川富雄・長谷川 清
11.00~11.20	⑤ 家庭用吸込槽と洗剤の分解性について	ライオン油脂研究所 大場健吉・吉田幸雄
11.20~11.40	⑥ 隅田川の水質予測とその対策	東京大学工学部 杉木昭典
11.40~12.10	④~⑥ 討 議	
12.10~13.10	昼 食 休 憩	
13.10~13.30	⑦ モデル河口貯水池の水質変動	東京大学工学部 徳平 淳・市川 新
13.30~13.50	⑧ 活性珪酸の生成と作用の機構	北海道大学工学部 丹保 憲仁
13.50~14.10	⑨ 地域開発よりみた浄水方法の2,3の問題	東京大学工学部 綾 日出教
14.10~14.40	⑦~⑨ 討 議	
14.40~14.50	休 憩	
14.50~15.10	⑩ 漏水を考慮した管路の設計	新日本技術コンサルタント 雄倉 幸昭
15.10~15.30	⑪ 管路における流速公式の比較と計算手順について	北海道大学工学部 高 桑 哲 男
15.30~15.50	⑫ 火災時を中心とした都市水道施設の設計法に関する2,3の研究	京都産業大学 保野健治郎
15.50~16.10	⑬ 管路内下水の熱収支	北海道大学工学部 神 山 桂 一
16.10~16.50	⑩~⑬ 討 議	
16.50~17.00	閉 会 換 拶	板 倉 誠

第3回トンネル工学に関するシンポジウム

◀11月29日(火)~30日(水)▶

土木学会トンネル工学委員会では、去る昭和39年3月トンネル標準示方書制定以来、トンネル土圧調査小委員会(村山朔郎主査)、工事の実態調査小委員会(住友 彰主査)、トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究小委員会(坂本貞雄主査)、シールド工法小委員会(西嶋国造主査)の各小委員会において、それぞれ専門的に調査研究を続けてまいりましたが、これらの調査結果を中心に下記により標記シンポジウムを開催することになりました。

また、当シンポジウムでは恒例により最近のトンネル施工の現況をもあわせて講演することになっております。会員諸氏におかれましては、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1966年11月29日(火)、30日(水)の両日
2. 会 場：私学会館7階講堂(国電市ヶ谷駅下車徒歩3分)
3. 参 加 費：会員 3000円 非会員 3500円(テキスト代を含む)(決定)
 テキスト { 第3回トンネル工学に関するシンポジウム(トンネル工学シリーズ3)
 わが国シールド工法の実施例・第1集 (" " 4)
4. 申 込 方 法：参加費を添えて11月15日までに土木学会事業課までお申込み下さい。なお、定員がありますので満員の際は
 お断りすることがあります。

5. プログラム：

(11月29日)

9.00~9.10	開会あいさつ	土木学会トンネル工学委員会委員長	藤井 松太郎
9.10~9.50	トンネル土圧について	京都大学防災研究所	○村山 朔郎
9.55~10.35	トンネル土圧の測定方法と現況	国鉄鉄道技術研究所	○高橋 彦治
10.40~11.20	鋼アーチ支保工の強度	KK大林組 坂本 貞雄・建設省土木研究所	○伊吹山 四郎
11.25~12.05	トンネル掘削における余掘の実態について	KK橋梁コンサルタント 住友 彰・建設省道路局	南部 繁 春
		国鉄建設局 ○峰本 守・日本鉄道建設公団	高山 昭 雅
		日本道路公団 今西 誠也・電源開発KK	渡部
12.05~13.00	昼食休憩		
13.00~13.40	セグメントの設計について	早稲田大学理工学部 村上 博智・東京都立大学工学部	○山本 稔
13.45~14.25	栗子トンネル工事計画と施工実績について	日本道路公団	○山本 元
14.30~15.10	親不知トンネルの工事計画と施工実績について	国鉄本社審議室	○北村 章
15.15~15.55	青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル掘進機の掘削試験について	日本鉄道建設公団	○天野 礼二

(11月30日)

9.00~9.30	わが国シールド工法の実施例・第1集について	帝都高速度交通営団 ○西嶋 国造・東京都交通局	遠藤 浩 三
		東京都下水道局 松岡 正次・東京都水道局	中川 義 徳
		東京電力KK 吉川 新吉・大阪市交通局	小林 幸 蔵
9.35~10.15	大阪地下鉄複線型と単線型シールドの実施例と問題点	大阪市交通局	○宮内 義人
10.20~11.00	シールド工法による駅部の施工計画について	帝都高速度交通営団 西嶋 国造・東京都交通局	○遠藤 浩 三
11.05~11.45	わが国小口径シールドの現況	東京都水道局 ○中川 義徳・東京都下水道局	松岡 正次・東京電力KK
		吉川 新 吉	
11.50~12.00	閉会あいさつ	土木学会トンネル工学委員会幹事長	加納 俊 二

6. 見 学 会：11月30日 14時

講習会終了後下記により見学会を開催いたします。参加希望者はシンポジウム申込みと同時に申し出下さい。なお、現場の都合もあり、必ずしもご希望の現場を見学できない場合もありますので希望順位をお書添え下さい(参加費無料)。

A. シールド工法実施現場(帝都高速度交通営団担当現場および東京都交通局担当現場の予定)参加人員 100名

B. 凍結工法実施現場(東京都交通局担当現場の安定)参加人員 50名

なお、詳細は当日会場にて発表いたしますが、集合場所は現地になる予定です。

第13回海岸工学講演会

◀12月5日(月)~6日(火)▶

第13回海岸工学講演会はつぎの日程により仙台市において開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、講演集はB5判活版印刷で目下編集中です。

1. 場 所：宮城県民会館（仙台市禅寺通り櫓丁 48 電・仙台 25—8641）
2. 講演会：1966年12月5日(月)~6日(火)
3. 講演題目：本誌第51巻10号8~9ページ参照
4. 見学会：1966年12月7日(水) 8.00~17.00
宮城県民会館集合(8.00) 一市内(青葉城)一塩釜海岸一松島海岸(双観山~瑞巖寺~五大堂)一石巻海岸(日和山~工業港現場)一女川港一仙台駅前解散(17.00)
5. 見学会参加費：500円(バス代および昼食代)
6. 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学講演会係 見学会定員100名(参加者多数の場合は申込受付順といたします)
7. 講演会場案内：
電 車—仙台駅前より八幡町または北仙台行に乘車、県庁市役所前下車、徒歩5分
バ ス—仙台駅前より北山行乗車、市役所前下車
タクシ—仙台駅前より100円
8. 宿泊案内：今回はとくに取扱いませんが共済施設として、つぎのようなものがありますのでご参考までにお知らせします。
国家公務員共済組合連合会仙台共済会館(仙台市長刀町7 電・仙台 25—5201)
国家公務員共済組合連合会仙台宿泊所翠月荘(仙台市北4番丁162 電・仙台 22—4469)
公立学校共済組合保養所白萩荘(仙台市錦町7 電・仙台 22—6692)

コンクリートおよび合成構造における急速施工に関する研究発表会

(第13回橋梁・構造工学研究発表会)

◀11月25日(金)▶

下記により標記研究発表会を開催いたします。今回の研究発表会はこれらの研究課題を中心に活発なディスカッションを行なう予定ですのでふるってご参加下さるようお願い申し上げます。

1. 共 催：日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目・国電四谷駅下車)
3. 会 場：聴講無料
4. 講演概要：会場にて実費頒布

5. 講演内容：

- | | | |
|-------------|--|---|
| 9.30~9.35 | 開 会 の 辞 | 日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁・構造工学分科会委員長 仲 威 雄 |
| 9.35~9.55 | プレキャスト円環柱の埋込長に関する実験的研究 | 京都大学 岡田 清・道路公団 山根 巖・京都大学 小野紘一 |
| 9.55~10.15 | 鋼とコンクリート・プレファブ部材との結合に関する2,3の実験 | 国鉄構設 田島二郎・阿部英彦・本田修一・中野昭郎 |
| 10.15~10.35 | プレキャストコンクリートパイルを柱材とした橋脚の急速施工と関連の実験 | 日本コンクリート工業 高野民夫・杉木六郎 |
| 10.35~10.55 | 鉄筋コンクリート合成スラブ橋 | 東京大学 松本嘉司・国鉄盛工 村上 温・国鉄構設 安本修一 |
| 10.55~11.00 | 休 息 | |
| 11.00~11.20 | 急速施工を考えた場合の2,3の接合方式 | 国鉄技研 樋口芳明・国鉄盛工 大山 忠・国鉄東工 野口 功 |
| 11.20~11.40 | プレキャストブロックによる実施例 | 首都高速 宮内敬保・上前行孝・西山啓伸 |
| 11.40~12.00 | 紀勢本線有田川橋梁架設工事における急速施工の検討について | 国鉄大工 宮口尹秀・国鉄構設 小池 晋 |
| 12.00~12.20 | 土木構造物を対象とした討議 | |
| 12.20~13.20 | 中 食 ・休 息 | |
| 13.20~13.40 | 早大第2学生会館の設計施工について | 早稲田大学 武 基雄・谷 資信 |
| 13.40~14.00 | プレキャストPCコンクリート建物の2,3の組立方法 | 岡本設計事務所 岡 本 剛 |
| 14.00~14.20 | 4,5階建壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造共同住宅の実用化に関する研究 | 住宅公団 菅 隆二・太田泰男・渡辺覚一・山内 修・東 貞三・中川丈夫・江里口富久也・河原 昂 |
| 14.20~14.30 | 休 息 | |
| 14.30~14.50 | 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート構造の耐力性状に関する研究(その1・縮小模型実験) | 東大生研 坪井善勝・東京工業大学 加藤六美・横浜国立大学 末永保美・東京工業大学 黒正清治 |
| 14.50~15.10 | 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート構造の耐力性状に関する研究(その2・1/4模型実験) | 東大生研 坪井善勝・九州大学 佐治泰次・建設省建築研究所 中野清司・広沢雅也・大成建設 平賀謙一・九州大学 富井政英・建設省建築研究所 品川多美二 |
| 15.10~15.30 | 中層量産アパートの研究 | 建設省建築研究所 川越邦雄・亀田泰弘・中野清司・篠沢清見・今泉勝吉・茶谷正洋 |
| 15.30~15.50 | 建築構造物を対象とした討議 | |
| 15.50~16.00 | 閉 会 の 辞 | 日本学術会議構造研究連絡委員会委員 国 分 正 脆 |

第1回土木計画学シンポジウム開催

◀1月31日(火)▶

土木学会土木計画研究委員会は1966年9月に発足した新しい委員会です。その事業の一つとして土木計画のあるべき姿とその問題点を検討し、あわせて計画に関する調査、研究等を推進するため、下記により第1回シンポジウムを開催することになりました。今回はまず土木計画のあり方と基礎理念に関する討論を中心とし、上記委員会において講演者を選び講演の公募はいたしません。土木技術者の活躍範囲において土木計画の分野がきわめて重要な事情にかんがみ、会員諸氏にはふるってご参加ご討論下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1967年1月31日(火)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 参加費：会員1500円(講演概要代をふくむ)
4. 申込方法：参加費を添えて1月15日までに土木学会編集課までお申込み下さい。なお定員がありますので満員の際はお断わりすることがあります。
5. プログラム

9.30~9.40	開会あいさつ ――総論――(司会 京都大学教授 米谷 栄二)	土木学会土木計画学研究委員会 委員長 鈴木 雅 次 東京大学教授 八十島 義之助 経済企画庁総合開発局長 加 納 治 郎
9.40~10.10	土木計画と土木技術	
10.10~10.40	土木計画と公共投資 ――各論――	
10.40~12.00	土木計画手法に関連して (司会 名古屋工業大学教授 渡辺 新三)	京都大学教授 吉 川 和 広 京都大学教授 佐 佐 木 綱 北海道大学教授 五十嵐 日出夫 鹿島建設土木企画部 佐 用 泰 司
12.00~13.00	昼 食	
13.00~13.40	総合計画に関連して (司会 東京大学教授 井上 孝)	日本大学助教授 北 川 米 良 建設省計画局地域計画課長 秀 島 敏 彦
13.40~15.00	産業開発と社会開発に関連して (司会 東京大学助教授 高橋 裕)	建設省関東地建河川部長 西 川 喬 京都大学教授 石 原 安 雑 京都大学教授 山 本 剛 夫 東京工業大学助教授 鈴 木 忠 義
15.00~15.10	休 憩	
15.10~16.50	交通計画に関連して (司会 北海道大学教授 小川 博三)	九州大学教授 内 田 一 郎 京都大学教授 長 尾 義 三 名古屋大学教授 毛 利 正 光 東北大学教授 多 谷 虎 男 京都大学教授 天 野 光 三 日本大学名誉教授 鈴 木 雅 次
16.50~17.20	所感(土木計画と私)	京都大学助教授 長 尾 義 三
17.20~17.40	"土木計画のあり方と基礎理念"に関するまとめ	京都大学助教授 長 尾 義 三
17.40~17.50	閉会のあいさつ	京都大学教授 石 原 藤 次 郎

注) 各講演者の論題は多少変更されることがあります。

第11回水理講演会開催

◀2月3日(金)~4日(土)▶

1. 会 場：土木学会土木図書館講堂
2. 課 題：1. 移動河床の水理 2. 拡散と分散 3. その他
3. 原稿受付締切：1966年12月5日(月)
4. そ の 他：

- 講演申込みは10月末で締切りましたのでご了承下さい。
- 原稿用紙は土木学会事業課に請求して下さい。前刷はタイプ印刷にいたします。
- 講演会終了後ひきつづいて水文学に関するシンポジウムを行ないます。

高分子材料の強度に関する講習会

◀ 1月26日(木)～27日(金) ▶

1. 共 催：日本材料学会・日本材料学会関西支部・日本材料学会強化プラスチック部門委員会
2. 協 賛：日本機械学会・日本建築学会・日本化学会・日本ゴム協会・日本航空学会・日本合板協会・造船協会・土木学会・化学工学協会・強化プラスチック協会・近畿化学工業会・合成樹脂工業会
3. 主 旨：プラスチックは機械装置の構造用材料として最近目ざましい発展をとげつつあるが、一方プラスチック材料の強度上の諸問題が数多くあり、これらの解決なしには安全使用はもちろん、将来の発展を期することができず、プラスチックの強度問題の解決は焦眉の急を要するものと考えられます。このときに当り「強度」に焦点を絞り、斯界の各専門家に十分な解説をお願いし、さらに質疑応答によって理解を深めていただくよう計画しました。
4. 会 場：大阪科学技術センター 401号室 大阪市西区靱1丁目118 電話 443-5321 (地下鉄3号線、信濃橋下車 うつぼ公園東北角)
5. 会 費：正会員 4000円 非会員 5000円 学生 2000円 (いずれも教材1部含む)
6. 教 材：テキストのみご希望の方は1部 1000円
7. 定 員：200名 (定員なり次第締切る)
8. 申込締切日：1967年1月20日
9. 申込方法：随意、用紙に氏名、所属、連絡先等を明記し、会費を添えて、日本材料学会講習会係(京都市左京区吉田泉殿町1の10(電話 76-5321) 振替口座 京都 26625 番)へお申込み下さい。
10. その他：協賛学協会会員は正会員扱とします。受講者には参加証を送りますから当日ご持参下さい。参加費は払い戻しいたしません。

11. 題目および講師

第1日

	開会のあいさつ	日本材料学会事業委員長	河 合 弘 迪
9.30～10.50	高分子材料の破壊の粘弾性的展望	信州大学	佐 藤 良 泰
10.50～12.00	エラストマーの破壊の理論	京都大学	川 端 季 雄
13.00～14.10	プラスチックの長時間強度とクレージング・クラック問題	同志社大学	奥 田 聡
14.10～15.20	プラスチックの引裂破壊現象	富士写真フィルム	上 野 弥
15.20～16.30	成形加工よりみたプラスチック成形品の強度	東洋レーヨン	井 上 正 一
16.30～17.00	自由討論 司会 奥田 聡		

第2日

9.30～11.00	強化プラスチックの強度理論と構造設計の問題点	東京大学	林 毅
11.00～12.30	強化プラスチックの破壊機構(静的および疲れ強さについて)	大阪市立大学	藤 井 太 一
13.30～14.30	ローピングクロス強化プラスチック積層板の強度と設計	大阪市立大学	平 井 恒 夫
14.30～15.30	構造物に用いられる強化プラスチックの設計方法	川崎車輛	鳩 貝 康 夫
15.30～16.30	フィラメント・ワインディングによる成形と強度(仮題)	日東紡	田 部 井 清
16.30～17.00	自由討論 司会 西山卯二郎		
	開会あいさつ 日本材料学会強化プラスチック部門	委員長	西山卯二郎

第4回 理工学における同位元素研究発表会——論文募集——

関係諸学・協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催いたします。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究、およびその技術の基礎となる研究の発表と討論を行ない、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものであります。会員各位におかれてはふるってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

1. 期 日：1967年4月18日(火)～20日(木)
2. 会 場：東京大学
3. 共同主催者：学連 43 学協会
4. 発表論文：

(1) 内容 それぞれの研究分野において、その専門的成果をうるにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、えられた専門的成果の報告も差しつかえありません。

研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

(2) 発表申込区分 プログラム編成の便宜上、つぎのように申込区分を設けます。

① 放射線照射のための線源および装置に関するもの、② 放射線化学その他照射効果に関するもの、③ ラジオグラフィに関するもの（装置に関するものを含む）、④ オートラジオグラフィに関するもの、⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの、⑥ 放射線利用機器に関するもの（エネルギー的利用、発光塗料なども含む）、⑦ トレーサーの利用に関するもの（安定同位元素も含む）、⑧ 分析に関するもの（安定同位元素も含む）、⑨ 製造、分離、精製に関するもの（安定同位元素も含む）、⑩ 化合物の合成、標識化に関するもの（安定同位元素も含む）、⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの、⑫ 安全取扱いに関するもの（遮蔽、施設、設備、器具、健康管理なども含む）、⑬ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの、⑭ その他。

(3) 発表時間 1件の発表 15分以内の予定。

発表者の資格：発表申込者が所属する主催学・協会の年会（大会）等の規定または慣例にしたがう。

発表申込：所定の申込書（1件1通）によりお申込み下さい。所定の申込書は、下記あて請求して下さい。

東京都文京区本駒込二丁目28番45号（理研内） 日本放射性同位元素協会内
理工学における同位元素研究発表会運営委員会 電話 東京 946-7111（代表）

発表申込締切：1967年1月31日（火）必着

講演要旨：講演要旨集を発行します。発表申込みがあり次第、所定の原稿用紙（1200字程度）をお送りします。

講演要旨原稿締切：1967年2月28日（火）必着

その他：

(1) この研究発表会の運営は、主催学・協会より選出された各1名の委員で構成された運営委員会において行ないます。

(2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。

なお、日本放射性同位元素協会の学術機関誌“RADIOISOTOPES”にはこの研究発表会の発表論文にかぎり、同協会会員外でも投稿することができます。

(3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意ください。

- i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合
- ii) 発表者の資格が、所属主催学・協会の規定または慣例に合致しない場合
- iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合

第13回国際道路会議開催

(XIII th World Road Congress)

1967年11月5日～11月11日まで第13回国際道路会議が東京プリンスホテルで開催されます。第1議題 一般的问题、第2議題 道路計画、土工、第3議題 たわみ性舗装、第4議題 剛性舗装、第5議題 交通との関係における道路の構造規格、第6議題 都市道路、第7議題 経済的問題の7テーマを協議するほか、見学会、レセプションなど多彩なプログラムが用意されています。外国人約600名、日本人約700名の参加が見込まれています。参加希望者はパンフレットが準備してありますので下記へお問合わせ下さい。

記

第13回国際道路会議日本実行委員会（東京都千代田区三年町1 日本道路協会内・電 581-2211）

工事報告書類の出版に関して

学会では多くの出版事業を行なっていますが、そのひとつに工事報告書類の出版があります。関門トンネル、若戸橋、一ツ瀬・杉安ダム、黒四発電所など、それぞれ企業主と十分に協議のうえに出版したものです。工事の特色と重要度、報告書に書込まれる内容、出版事業としての採算など出版企画委員会で検討のうえ処理いたしますからご相談下さい。窓口は事務局編集課（351-5130）です。

北海道支部行事案内 (札幌市南一条西2丁目 勸銀ビル5階)
電 札幌 25-2211 内線 252

研究発表会論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会(2月下旬)に発表の論文または報文をつぎの要領で募集します。

1. 発 表: 北海道支部刊行技術資料第23号に本印刷掲載
2. 内 容: 土木技術論文・工事報告文
3. 応募方法: 応募者は、題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭または郵便で申込みのこと。ただちに原稿執筆要領、所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切: 11月末日厳守
発表者には薄謝を呈し、特にすぐれたものには、支部奨励賞(賞状・メダル・賞金)を贈り表彰する。
5. 申 込 み: 参加費、テキスト定価700円、送料50円を添えて10月31日までにお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電 東京 351-4133)

「現場技術者のための測定技術」講習会 ◀ 12月7日(水), 8日(木), 9日(金) ▶

最近土木工学が進歩するにつれて、着工前に工事現場で工学的条件の測定を行なうばかりでなく、工事中も工事を測定器で計算しながら施工管理をして行く傾向が顕著になって来ています。

このため関東支部では、新しく土木工学に应用されているものの中で、主として、ひずみ、応力および変位に関する測定技術についてのゼミナーを開催いたしますので、多数ご参加下さい。なお、講義には土木工学での応用を多く引用する予定であります。

1. 会 場: 土木学会土木図書館講堂(講義, 実習とも)

2. プログラム: 第1日 12月7日(水) 講義

9.50 あいさつ

10.00~12.00 カールソン型計器を主とする測定

13.00~15.00 ストレンゲージによる測定

15.10~17.10 差動トランスおよび摺動抵抗による測定

土木学会関東支部長 当 山 道 三

KK土木測器センター 中 根 博 司

新興通信工業KK 青 柳 鷹之助

坂田電機KK 針 生 幸 治

第2日 12月8日(木) 実習 9.30~16.00

第3日 12月9日(金) 実習 9.30~12.00

討議 13.00~16.00

—実習内容—

- ① カールソン型計器の基本操作と測定結果の解釈
- ② 鉄片およびコンクリート片へのゲージのはりつけおよび測定実習
- ③ 差動トランスと摺動抵抗に在る測定の基本操作と測定結果の解釈

3. 定 員: 講義および実習 60名

講義のみ 100名(上記60名のほかに)

4. 参 加 費: 講義および実習(3日間) 6000円

講義のみ(1日間) 2000円

(いずれもテキスト代1500円を含む)

テキスト定価1500円, 送料70円

5. 申 込 み: 参加費を添えて11月5日までに関東支部へお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電話 大阪 (06) 981-2510 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 第2回学生見学会 (大阪空港工事, 大阪市地下鉄工事見学会) ◀11月24日(木)▶

1. 見 学 先:大阪空港工事 (Aランかさ上げ工事, Bラン工事, エプロン工事, ハンガー工事等) 大阪市地下鉄工事 (5号線今里付近)
2. 参加者資格:土木学会学生会員 (ただし申込み期日までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正会員も有効)
3. 集 合:11月24日12時45分までに神戸大学土木教室
4. 行 程:13時00分神戸大発—13.50 大阪空港工事見学 14.50 発—15.50 大阪市地下鉄工事5号線見学 16.50 発—
阪急六甲駅着解散
5. 参 加 費:50 円
6. 定 員:60 名
7. 申 込 期 限:1966年11月9日(水)
8. 申 込 要 領:参加希望者は学校名および氏名を明記し参加費 50 円を添えて各学校の学生班長を経由のうえ11月9日(水)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。
申込み期限内でも定員を超過した時は学校別に人員の割当てをいたしますからお含みおき下さい (学生班長は申込み先順位番号を付して一括申し込んで下さい)。

(2) 学 生 映 画 会 (第3回) ◀12月8日(木) 15.00~▶

1. 場 所:神戸大学工学部 307 教室 神戸市灘区六甲台町1 電 神戸 (078) 87-5131 番 国鉄六甲道または六甲より市バス外大前または神戸大学前下車
2. 上 映 映 画:くろよん (16ミリ カラーワイド 39 分) 天ヶ瀬ダム (16ミリ カラーワイド 40 分) 羽田モノレール (16ミリ カラー 24 分) 新しい橋 (D.W. 工法) (16ミリ カラー 30 分)
3. 定 員:100 名
4. 参 加 費:無料, 正会員の方の参加も歓迎します。

(3) 第9回溶射技術講演および研究発表会 ◀12月1日(木)~3日(土)▶

共催:日本溶射協会・金属表面技術協会関西支部・日本機械学会関西支部

協賛:土木学会関西支部・日本建築学会近畿支部・溶接学会・関西造船協会・日刊工業新聞社・日本鍍研新聞社

1. 場 所:日刊工業新聞大阪支社 大阪市東区京橋前之町2番地の1 電 大阪 (06) 941-6571 番
京阪電車天満橋駅下車

2. 題 目 と 講 師:

第1日(12月1日)

- | | | |
|-------------|-----------------------|----------------------|
| 9.30~9.40 | 開会の挨拶 | 日本溶射協会会長 多賀谷正義 |
| 9.40~11.00 | ① 溶射金属の性質 | 大阪府立大学工業短大教授 工博 美馬善文 |
| 11.00~12.30 | ② 亜鉛溶射専門部会の報告 | 大阪府立工業奨励館 工博 官瀬 淳 |
| 13.30~15.00 | ③ 溶射用プラズマジェットとガス炎について | 金属材料技術研究所 工博 運井 淳 |
| 15.00~16.30 | 研 究 発 表 3 題 | |

第2日(12月2日)

- | | | |
|-------------|------------------|-------------------|
| 9.30~11.00 | ④ ライニングの試験法 | 本荘耐酸化学機械KK 本荘好雄 |
| 11.10~12.30 | 特別講演「欧州における溶射技術」 | 大阪大学名誉教授 工博 多賀谷正義 |
| 13.30~16.00 | 研 究 発 表 4 題 | |

第3日(12月3日)

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| 9.30~10.30 | 研 究 発 表 2 題 | |
| 10.30~12.00 | 質疑応答, 討論 | |
| 12.00~12.10 | 閉会の挨拶 | 日本溶射協会副会長 美馬善文 |

3. 聴 講:無料, 教材:2500 円 (当日拝受)
4. 申 込 方 法:参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名を明記 (様式随意) のうえ下記へお申し込み下さい。
申 込 先:尼崎市西昆陽 鉄鋼短期大学内
日本溶射協会 電大阪 (06) 401-4388 番 内線 52 番

(4) 実用荷重に対する強度講習会

◀ 12月6日(火)～7日(水) ▶

共催：日本材料学会関西支部・土木学会関西支部・日本機械学会関西支部・日本建築学会近畿支部・日本航空学会関西支部

1. 場 所：大阪府立工業奨励館 大阪市西区江之子島 市バス川口町下車東へ 100m

2. 題目と講師：

第1日(12月6日)

9.15～9.20	開会の挨拶	日本材料学会関西支部長	奥 島 正 一
9.20～10.40	① 不規則荷重の統計的取扱い	京大工	三 根 久
10.40～12.00	② 不規則振動と荷重	京大工	得 丸 英 勝
13.00～14.40	③ 構造物の信頼性	神戸大工	西 村 昭
14.40～15.40	④ 金属の疲労(とくにプログラム疲労)	立命館大理工	関 護 雄
15.40～17.00	⑤ 実働荷重に対する金属材料の疲労強度(寿命および耐久限度)の予知法	岡山大工	山 田 敏 郎

第2日(12月7日)

9.20～10.40	⑥ 共振疲労とランダム疲労	阪大工	菊 川 真
10.40～12.00	⑦ 航空機における実用強度設計の現状	名大工	井 町 勇
13.00～14.20	⑧ 自動車工業における実用強度設計の現状	トヨタ自動車	高 橋 達
14.20～15.40	⑨ 土木構造物の不規則振動と強度	京大工	山 田 善 一
15.40～17.00	⑩ 建築架構の不規則振動と強度	京大工	小 堀 欽 二
17.00～17.05	閉会の挨拶	日本航空学会関西支部長	川 原 琢 磨

3. 参 加 費：共催学会会員 3500円(テキスト代を含む) 非会員 4500円(テキスト代を含む)

4. 定 員：100名

5. 申 込 締 切：1966年11月30日

6. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および所属学会名を明記のうえ参加費を添えて(現金書留を利用)11月30日までに下記へお申し込み下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。

申 込 先：大阪市西区靱1丁目118番地 大阪科学技術センター6階

日本材料学会関西支部 電 大阪(06)441-5531番

(注) 1. 都合により講師の順序に変更があるかもしれませんのでご了承下さい。

2. テキスト：会員 800円 非会員 1000円 送料 100円

(5) PCに関する講習会(1966年11月30日(水),12月1日(木)の両日 大阪科学技術センター)

(6) 道路・交通工学における最近の諸問題講演会(1966年12月6日(火),7日(水)の両日 大阪府厚生会館)

(附) テキスト頒布について

(土木学会関西支部刊行)

土木構造物の振動と安全性	頒価 1000円	送料 80円
シールド工法	” 700円	” 80円
土質改良工法	” 600円	” 60円
建設工事と高分子材料	” 400円	” 60円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内(広島市小町4-33 中国電力土木部内・電 広島 41-0211)

支部総会ならびに第18回学術講演会

◀ 11月24日(木)～11月26日(土) ▶

1. 日 時：1966年11月24日(木)～25日(金)9.00～17.30

2. 場 所：松山市文京町3番地 愛媛大学工学部

3. 聴 講 料：無料(ただし講演概要を希望の方は当日会場において200円でお渡します)

4. 題目および講師：

第1日(24日)

- 9.00~9.25 土木学会中国四国支部総会挨拶 支部長 村田清逸
経過報告 幹事長 鈴紀喜久
- 9.25~9.30 学術講演会挨拶 土質工学会四国支部長 渡辺豊
- 9.30~10.00 (特別講演)愛媛県の土木行政について 愛媛県土木部長 齊木克巳
- ① 10.00~10.10 丹生谷橋の応力測定について 徳島大学 星治雄・児嶋弘行・○神田陸
- ② 10.10~10.20 義経橋(鉄筋コンクリート斜板橋)の載荷試験について 広島県土木建築部 竹元千多留・福山コンサルタントKK 福山俊郎・中四国復建事務所 山本弘夫・伊藤直樹
- ③ 10.20~10.30 3径間連続橋の固有値の変動について 山口大学 中川建治・○田中達也
- ④ 10.30~10.40 鋼拱橋の補修に関する一実験的研究 大阪市立大学 倉田宗章・愛媛大学 ○見沢繁光・園田恵一郎・日笠隆司・酒井克己
- ⑤ 10.40~10.50 レール弾性締結装置の応力解析 愛媛大学 見沢繁光・五十嵐寧・○日笠隆司・酒井克己
- ⑥ 10.50~11.00 モワレ法的应用について 広島大学 ○大村 祐・上野谷実
- 11.00~11.10 討 議
- ⑦ 11.10~11.20 変断面単純支持ばりの動的等価法について 山口大学 中川建治・浜田純夫・○荒尾征士
- ⑧ 11.20~11.30 平面剛滑節構造物の安定性の一計算について 徳島大学 星治雄・児嶋弘行・○平尾 潔
- ⑨ 11.30~11.40 安芸大橋(ニールセン)の上部工の設計について 広島県土木建築部 山本弘夫・広島土木建築事務所 隠岐幸男・三菱重工KK広島造船所 古賀太郎・○松雅雄
- ⑩ 11.40~11.50 トラスドランガー桁橋の能率的な設計計算法について 徳島大学 児嶋弘行
- ⑪ 11.50~12.00 逆ランガー桁橋の撓み及び応力計算について 徳島大学 星治雄・三井造船 安芸佳人・○横田健一
- 12.00~12.10 討 議
- 12.10~12.30 昼 食
- ⑫ 13.00~13.10 杭打ち時における杭先周辺土の破壊に関する実験的研究 広島大学 林 公重
- ⑬ 13.10~13.20 電気透圧圧密に関する2,3の実験的研究 広島大学 網千寿夫・○吉国 洋
- ⑭ 13.20~13.30 軟弱地盤の基礎破壊に関する模型実験 広島大学 網千寿夫・中国地建 佐々木康・○岡西光彦
- ⑮ 13.30~13.40 一軸圧密試験における二次圧密特性と側面摩擦の関係について 広島大学 門田博知
- ⑯ 13.40~13.50 真砂土斜面の粘土化作用とその安定示唆 愛媛大学 ○山下親平・松木三郎
- 13.50~14.00 討 議
- ⑰ 14.00~14.10 地すべり地における崩積層の土のせん断試験について 徳島大学 小田英一・○盛山武彦
- ⑱ 14.10~14.20 異方性の傾斜せる地山中のトンネル周辺応力の光弾性実験について 徳島大学 小田英一・○才木 繁
- ⑲ 14.20~14.30 繰り返し衝撃をうけた粒体層の永久変形について 山口大学 最上幸夫
- ⑳ 14.30~14.40 道床バラストの汚染による支持力低下 愛媛大学 安山信雄・見沢繁光・五十嵐寧・○安東祐一・亀屋義教
- 14.40~14.50 討 議
- ㉑ 14.50~15.00 テラロサの安定処理について 山口大学 ○榎渡正美・松江工専 鈴鹿和英
- ㉒ 15.00~15.10 アスファルト舗装混合物のフレキシビリティ試験について 高松工専 泉 英世
- ㉓ 15.10~15.20 フライアッシュをグリアーとしたアスファルト混合物について 山口大学 榎渡正美・○上田 満
- ㉔ 15.20~15.30 名野川橋下部工事施工について 四国地建 土居温郎
- 15.30~15.40 討 議
- ㉕ 15.40~15.50 礫石の重液選別について(第1報) 愛媛大学 江沢政男
- ㉖ 15.50~16.00 合成樹脂接着継手に関する2,3の研究 愛媛大学 見沢繁光・安山信雄・日笠隆司・○酒井克己・安東祐一
- ㉗ 16.00~16.10 軽量コンクリートの強度に関する基礎研究 広島大学 船越 稔・阿部康俱・○米倉亜州夫
- ㉘ 16.10~16.20 人工軽量骨材に関する2,3の実験 徳島大学 荒木謙一・里見洋征・○伊賀俊昭
- ㉙ 16.20~16.30 多点負荷による鉄筋コンクリートばりの力学的考察 山口大学 ○加賀美一二三・二木和夫・長谷川博
- 16.30~16.40 討 議
- ㉚ 16.40~16.50 コンクリートの打ち込み方向と荷重方向との関係 大阪市立大学 久保直志・愛媛大学 ○松木三郎
- ㉛ 16.50~17.00 中心軸圧力を受ける軽量コンクリート柱の強さに関する基礎研究 広島大学 船越 稔・○阿部康俱
- ㉜ 17.00~17.10 除草剤による雑草駆除について 四国地建 山下義一・○宇賀和夫
- 17.00~17.20 討 議

第2日(25日)

- ㉝ 9.00~9.10 地上と地下の連絡測量における問題点について 愛媛大学 滝野正次
- ㉞ 9.10~9.20 底面剪断力における底面曲率の影響について 徳島大学 ○湯浅博明
- ㉟ 9.20~9.30 模型実験に対する沖の水深の影響について(その2) 徳島大学 ○三井 宏・川崎俊太
- ㊱ 9.30~9.40 芦田川の低水流量の解析と河口せきの計画について 中国地建 新居英一
- ㊲ 9.40~9.50 トンネル式洪水吐の給気孔に関する実験的研究 広島大学 金丸昭治・○星 健三・中電技術コンサルタント 池田 穰・田中弘泰
- 9.50~10.00 討 議
- 10.00~11.30 (特別講演)地質調査の問題点とその解決に対する2,3の試み 建設省土本研究所在地質研究室長 芥川真知
- 11.30~12.30 昼 食
- 12.30~14.00 (特別講演)特殊土の締固めについて 中央大学教授 久野 悟郎
- 14.00~15.30 (特別講演)道路土工における2,3の問題点 日本道路公園高速道路試験所調査役 稲田 倍徳
- 15.30~17.30 (特別講演)瀬戸内海 愛媛県出納長 松友 孟
- 17.30~ 閉会の挨拶 幹事長 鈴紀喜久

5) 11月26日予定しておりました見学会は都合により取やめます悪しからずご了承下さい。